

## 11月6日「秋の学習会」は参議院議員会館で開催

石破茂首相は「信頼と納得の内閣でありたい」と強調しましたが、臨時国会で衆参予算委員会を実施しないまま、9日に衆議院を解散、15日公示、27日投開票に突き進んでいます。自民党の「表紙」だけを変え、新首相が注目を得ている間に選挙をやってしまおうという党利党略は許されません。しかし、自民党総裁選での発言との言行不一致が世論の厳しい批判を受け「裏金議員公認」の一部の非公認など選挙戦略に狂いが生じています。今回の衆議院選挙が問われているのは、自民党政治そのものを変えることです。そのチャンスはあります。

自公政権が続く中でインボイス制度の強行、税務相談停止命制度、電子帳簿、加算税制度の厳罰化、税務書類控えへの押なつ廃止、国税通則法をも逸脱した税務調査など、納税環境は悪化しています。これらは多くのフリーランスや中小自営業者、農業従事者、建設労働者などに一層の負担と権利侵害を強めています。

そこで、不公平な税制をただす会は「権利は闘ってこそ守られる」と、自覚的な納税者や専門家など、闘いの理論、運動の観点に確信を深める「税務行政と納税者の権利」の研究・学習会を開催します。多くの皆さんの参加を期待します。

### 記

テーマ：「税務行政と納税者の権利」

日時：2024年11月6日(水) 時間 午後1時30分～4時頃まで

場所：参議院議員会館 B109 会議室

(※衆議院が解散されましたので会場が変わります。)

参加者の皆さんは参議院議員会館にお集まりください

事例報告：全国で闘っている事例を全商連、社会保険労務士、  
税理士などから報告します

基調報告：浦野広明・不公平な税制をただす会共同代表  
立正大学法制研究所特別研究員

参加申し込み <<FAX03(3358)>> (締切:11月4日)

氏名	
所属・団体名等	